

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課： 道路局 高速国道課

担当課長名： 横田 耕治

事業名 中国横断自動車道 姫路鳥取線 智頭～鳥取	事業区分 高速自動車国道	事業主体 日本道路公団
起終点 自：鳥取県八頭郡智頭町大字市瀬 至：鳥取県鳥取市本高		延長 2.4 km
事業概要 中国横断自動車道姫路鳥取線は山陰圏域と山陽圏域を相互に連絡し産業・経済・文化の一体的な交流発展に資する路線である。		
H9年度事業化		H8年度都市計画決定
H12年度用地着手		H13年度工事着手
全体事業費（有料） ： 1,202億円		事業進捗率 ： 8%
計画交通量 ： 3,800～4,000台/日（有料）、13,300～15,300台/日（無料）		供用済延長 ： - km
費用便益分析結果（有料）	B/C (事業全体) 0.91 (残事業) 0.99	総費用 ： (残事業)/(事業全体) 691/750億円 (事業費： 635/ 694億円) (維持管理費： 56/ 56億円)
費用便益分析結果（無料）	B/C (事業全体) 2.31 (残事業) 2.52	総費用 ： (残事業)/(事業全体) 655/714億円 (事業費： 623/ 682億円) (維持管理費： 32/ 32億円)
総便益 ： (残事業)/(事業全体) 684/684億円 (走行時間短縮便益： 623/ 623億円) (走行費用減少便益： 44/ 44億円) (交通事故減少便益： 18/ 18億円)		基準年 平成15年度
事業の効果等（有料） ・指標1（高速バス等長距離自動車交通の利便性が高まる） ・指標2（新幹線・空港等幹線交通網への利便性が高まる） ・指標3（高度な医療施設までの搬送時間が短縮される）		
他10項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 当区間は、姫路鳥取線（佐用～大原）及び直轄事業の志戸坂峠道路と一体となって、鳥取市を中心とする山陰東部地域と山陽地域を結び、これら地域の経済、文化等の交流だけでなく、関西をはじめ広く全国との交流を強め、一体的な発展と活力ある地域づくりを実現するために、欠かすことの出来ない重要な路線である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 将来の社会経済状況の変化に対応した将来交通需要、及び、長期的な道路計画の検討に資する2050年までの推計を目的に、前提となる社会経済指標等を見直した結果、全車の総交通需要を下方に修正。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在、工事中。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後も引き続き工事の推進を図る予定。		
施設の構造や工法の変更等 新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 高速道路の整備を直轄方式に移行する見直しを行い、事業継続と判断する。		
事業概要図 <div style="text-align: center;"> </div>		

供用中はH15年度供用予定を含む。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

（バックデータ等についてはインターネットで公開）